

■効果の見える治水事業  
徳島県 馬路 急傾斜地崩壊対策事業

徳島県西部総合県民局 県土整備部部長 久保 義人



○概要

当箇所は、徳島県三好市池田町馬路にあり、人家2戸および地域防災計画に位置づけられた避難所である馬路小学校や、要配慮者利用施設である馬路幼稚園を保全対象に含む急傾斜地崩壊危険区域に指定されています。

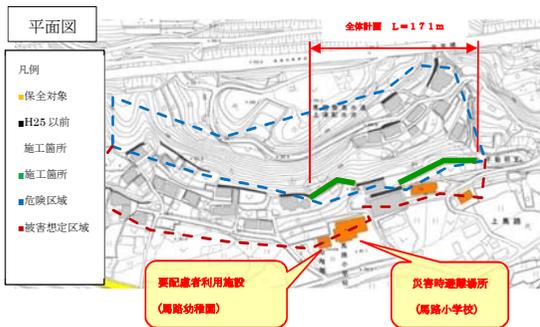
県では平成26年度より急傾斜地崩壊対策事業に着手し、擁壁、落石防護柵、排水路等の対策工事を行い、平成30年3月に事業完了となりました。

土砂災害危険箇所が多い県西部においては、近年大型化する台風や頻発するゲリラ豪雨など、過去に経験のない自然災害、南海トラフ巨大地震や中央構造線・活断層地震の発生に備えた土砂災害対策が急務となっております。特に平成30年7月豪雨では、県西部の各地で地すべりやがけ崩れ等の土砂災害が多発し、県道や市道の通行止め、人家への被害等もありましたが、早期の避難により人的被害はありませんでした。このことから、ソフト対策の重要性を改めて実感しました。

今後とも一層、住民の生命・財産を守り安全で住みやすい県土づくりのため、ハードとソフト一体となった土砂災害対策にしっかりと取り組んでまいります。

○事業内容

・事業期間	平成26年度～29年度
・整備内容	擁壁工 L=171m 落石防護柵工 L=156m 水路工 L=142m



「この街に住んでよかった・生まれてよかった・訪れてよかった」と言われる安全・安心なまちづくり



徳島県三好市長 黒川 征一



四国一広大な面積を誇り、四国のほぼ中央に位置する本市は、「四国三郎」吉野川が雄大に流れ、全国に名だたる景勝地である大歩危・小歩危峡、四国第二の高峰・剣山といった豊かな自然を有し、平家落人伝説が残る祖谷のかずら橋や落合重要伝統的建造物群保存地区などの史跡の数々など歴史、文化、伝統に育まれた”観光のまち”です。こうした魅力ある地域の資源を最大限に活用し、三好市を「まるごと観光地」とするとともに、「住んでよかった、訪れてよかった」と思えるまちづくりに取り組んでいます。

また、2017年には吉野川でラフティング世界大会が開催され、世界各国から多くの方が訪れ、世界最高レベルの競技が実施されました。さらに今年8月にはウェイクボード世界選手権の開催が予定されており日本はもとより世界に「ウォータースポーツのまち三好市」を発信しております。

しかしながら、721.48平方キロメートルという市の広大な面積のうち、可住地面積は13%と低く、ほとんどが急峻な山地で占められており、「急傾斜地崩壊危険箇所」「土石流危険渓流」「地すべり危険箇所」も数多く存在しております。

池田町馬路地区においても、急峻な地形をした箇所が多く、過去においても土砂災害の発生により市民の安全が脅かされてまいりました。徳島県のご配慮により平成26年度から平成29年度において、同地区の急傾斜地崩壊対策事業の調査及び対策工事に取り組んでいただき、おかげをもちまして対策工事が完了し周辺住民や馬路幼稚園、小学校に通う子どもたちにとって安心安全を確保するだけでなく、防災上の重要な拠点が守られることにより、地域住民の安全で安心な生活につながるものと期待するものでございます。

今後も、三好市におきましても、地域防災の取り組みをさらに強めてまいりたいと考えます。このたび事業の推進にあたりご尽力をいただいた各関係機関の皆様方にお礼申し上げますとともに、今後とも三好市民が安全・安心に生活が送れるよう引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

